



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



記事を読んで問いに答えましょう。

2020年10月15日朝刊

民間シンクタンク「ブランド総合研究所」（東京）は14日、2020年の都道府県別魅力度ランキング調査で、1位は12年連続で北海道だったと発表した。2位は京都府、3位は沖縄県と続いた。7年連続最下位だった茨城県は42位で、8年ぶりに最下位を脱出した。静岡県は昨年から一つ順位を落とし、14位だった。茨城県は18年、情報発信を強化するため「プロモーション戦略チーム」

茨城 都道府県魅力度 8年ぶり最下位脱出

1位・北海道、最下位・栃木、静岡は14位

を設置。若者向けに動画投稿サイト「ユーチューブ」で動画配信するなど、県産品のブランド化や観光誘致を推進した。現在のチームリーダーの谷越敦子さんは「（ランキングは）影響力が大きいので気になっていた。県の認知度が上がってきた」と手応えを語った。

大井川和彦知事は「順位が上がったことは喜ばしいが、本県の魅力はもつと上位であつても良い」と苦笑した。一方、最下位となった栃木県の福田富一知事は「来年こそは同じ結果にならないよう取り組みたい。栃木の魅力を測るための適切な指標なのか疑問を感じた」と指摘した。

調査はインターネットで6～7月に実施。認知度や居住意欲など計84項目を尋ね、3万1734人から有効回答を得た。09年から都道府県別のランキングを公表し、茨城県は46位だった12年以外は全て最下位だった。

- ①都道府県別魅力度ランキング調査で、12年連続第1位の都道府県はどこですか。
()
- ②2020年の静岡県は第何位でしたか。第()位
- ③7年連続最下位だった茨城県が推進してきたことを記事中から見つけ、線を引きましょう。
- ④上位に入った都道府県に共通して言えることは何だと思いませんか。記事を参考にして書きましょう。

年 組 名前



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



解答例

2020年10月15日朝刊

記事を読んで問いに答えましょう。

民間シンクタンク「ブランド総合研究所」（東京）は14日、2020年の都道府県別魅力度ランキング調査で、1位は12年連続で北海道だったと発表した。2位は京都府、3位は沖縄県と続いた。7年連続最下位だった茨城県は42位で、8年ぶりに最下位を脱出した。静岡県は昨年から一つ順位を落とし、14位だった。茨城県は18年、情報発信を強化するため「プロモーション戦略チーム」

茨城 都道府県魅力度 8年ぶり最下位脱出

1位・北海道、最下位・栃木、静岡は14位

を設置。若者向けに動画投稿サイト「ユーチューブ」で動画配信するなど、県産品のブランド化や観光誘致を推進した。現在のチームリーダーの谷越敦子さんは「（ランキングは）影響力が大きいので気になっていた。県の認知度が上がってきた」と手応えを語った。

大井川和彦知事は「順位が上がったことは喜ばしいが、本県の魅力はもつと上位であつても良い」と苦笑した。一方、最下位となった栃木県の福田富一知事は「来年こそは同じ結果にならないよう取り組みたい。栃木の魅力を測るための適切な指標なのか疑問を感じた」と指摘した。

- ①都道府県別魅力度ランキング調査で、12年連続第1位の都道府県はどこですか。
(**北海道**)
- ②2020年の静岡県は第何位でしたか。 第(**14**)位
- ③7年連続最下位だった茨城県が推進してきたことを記事の中から見つけ、線を引きましょう。
- ④上位に入った都道府県に共通して言えることは何だと思いませんか。記事を参考にして書きましょう。

(例) 自然や文化財に魅力があり、観光地になっている。
その都道府県の魅力を多くの人知っている。
都道府県の良さを分かりやすく発信しているのではないかなど

年 組 名前